

2023（令和5）年度  
相談支援センターあんず 事業報告書

## はじめに

ご家族の高齢化に伴う介護力低下等、各ご家庭における現状から不安が増大する中であって、在宅生活を継続するために必要なサービスをつなげ、不安感が低減されるよう取り組みを進めた。しかし、家庭内に外部から人が入ることや、自分が担ってきた介護を他人にゆだねることへの抵抗感が強い家庭は、何年も提案し続けていても、サービス利用とはならず、難しさが続いている。

その他継続した課題として「65歳の問題」があるが、今年度も介護認定では非該当となっていた67歳の方が、障害福祉サービス受給者証の更新にあたり、2回目の介護認定を受けたところ要支援2と判定され、介護保険でのサービス利用となった。このことから、当相談支援センターから介護支援専門員さんにバトンタッチすることになったが、移行に際しては、サービス支給量が少なくなることや、1割負担が発生することから、なかなか納得していただかず、何度も説明の機会が必要であった。本人の意思により障害福祉か介護保険かを選べないことが一番の課題ではあるが、介護認定を受ける際に制度の説明をしていたが、十分に理解いただけているかの確認することが必要であったと痛感している。

また、昨年度に引き続き、災害対策に関する活動として、「避難行動要支援者個別避難計画」の作成業務にも取り組み、支援者として利用者さんのご兄弟と初めて連携し、災害時に地域の避難場所への移動などの課題について認識を深めた。

今後も利用者の皆さまお一人おひとりの状況変化に適時対応し、わかりやすい利用計画の作成を心掛ける。ご本人やご家族の皆さま、その他支援に関わる関係各方面から賜った諸情報を把握し、今現在、関わらせて頂いている利用者さんの支援に丁寧に向かい合える姿勢をいつも忘れない様にしたい。また、相談支援事業所連絡会、地区ブロック会議、研修会への参加等を通じ、相談員としてのスキル向上も図っていききたい。

### 1 実施件数

- |  |     |
|--|-----|
| ▶サービス等利用計画   | 12件 |
| ▶モニタリング及び評価  | 50件 |
| ▶サービス提供時モニタリング加算   | 13件 |
| ▶サービス担当者会議   | 1件  |
| ▶日常生活に関する相談  |     |
| ・認定中の区分に基づき、支給可能なサービス量の範囲内での計画変更に関して行政、該当するサービス提供事業者さまへの対応や更新手続きに関する支援、利用計画の作成に関する相談に対応した。 |     |
| ・サービスのご利用方法、手続きの進め方等の相談に関し電話等により対応した。  |     |

### 2 事業推進のための連携

福山市総合支援協議会 相談支援連絡協議会に所属し、事例検討、情報交換等に努めた。